

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 岡田美津子



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員	岡田美津子			
期 間	平成 30 年 10 月 15 日（月 ）～平成 30 年 10 月 15 日（月 ）			
視 察 先	広島県庁（研修会・総会）			
視 察 用 務	① 子供の貧困連鎖防止対策について ② 今後の本県教育の方向性について			
視察先対応者	講師： 県子供未来応援部長 新宅 郁子 講師： 県教育委員会教育長 平川 理恵			
概要及び所見	<p><u>1 子供の貧困連鎖防止対策について</u></p> <p>広島からはじまる「すべての子供が夢を育むことのできる社会づくり」について、県子供未来応援部長よりお話を伺った。</p> <p>話の流れは、まず、本来あるべき姿と現状の認識を聞き、それに向けた課題解消に向けての考え方、そして貧困の連鎖防止に向けての県の推進体制の整備についてであった。</p> <p>現在、少子化の進行で、環境が不十分な子供たちが増えている。その課題解消に向けては、ライフサイクルの早い段階から、それぞれの世代に応じた「一貫した人づくり」に取り組む事が重要。安心して妊娠・出産・子育て出来る環境整備「ひろしま版ネウボラ」を構築する。</p> <p>又、現代社会の課題となっている「貧困の連鎖防止に向けて」は「子供に必要な学力を身に付けさせる」事が重要で、家庭の経済事情に関わらず、全ての子供の能力と可能性を最大限高める「学びのセーフティネット」の構築を考えている。その生活の基盤づくりに「食」は非常に重要で、朝食の喫食率の向上に向けても取り組んでいく、という事であった。とても参考になった話であり、本市の状況もしっかり見極めて、広島県の取り組みを参考にして進めていきたいと思った。</p>			

## 2 今後の本県教育の方向性について

「ひとづくり」は、広島県の重要な政策のひとつと位置付けて「ひろしま未来チャレンジビジョン」を作成。一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協同して新たな価値を創造する人づくりを目指す。広島版「学びの変革」アクション・プランを策定し、今年度から全県展開に取り組んでいる。

その様な話の説明を受けた中で、平川教育長は不登校の未然防止や社会とのつながりの構築に向けた取り組みを進める事で、不登校等児童生徒対策の充実を図るなど「学びのセーフティーネット」の拡充にも取り組んでいくとの事。パワーポイントを使って、これまで平川教育長が取り組んでこられた、ドイツ発祥のイエナプランの考えを基にした不登校支援の話を学んだ。子供にきちんとした居場所をつくってあげて、子ども目線で物事を考えていく事の重要性を学んだ。とても参考になった。

又、学校図書のリニューアルについても学び、学校図書は最先端でなくてはならない事。どの本を捨てて、どの本を残すか。又、男子にも目線を合わせて本を選ぶことの大切さ、楽しく安心して本が読める図書館の模様替えも大切だと、身近で出来る発想の転換を学んだ。